

安全安心な水を安定供給

安全で安心な水道水を安定的に供給するため、昭和40年から使用している旭町浄水場の代替施設として令和元年6月から建設を進めてきた「鏡石浄水場」が緑町地内に完成しました。今後は9月末の通水開始を目指して、旭町浄水場からの切替工事や通水試験などを行って行く予定です。

新たに完成した鏡石浄水場は、敷地面積が2.1ヘクタールで、処理水量は1日当たり最大で旭町浄水場の約1.5倍に当たる3,509㎡、配水池の有効水量は旭町浄水場の約2倍の1,738㎡となっています。

また、東日本大震災時の長期的な断水を踏まえ、敷地内に約100台の車が駐車可能な応急給水施設を設けたほか、大雨時に河川の増水を防ぐために雨水を一時貯留する防災調整池も備え、災害時の重要な拠点としての性質も併せて持っています。

鏡石浄水場 9月末通水開始へ



【鏡石浄水場内の各施設について】

- ①管理事務所
- ②薬品棟 ⇒ 薬品の注入、保管及び水質管理をしている施設
- ③着水井 ⇒ くみ上げた水に薬品を入れ、かき混ぜる施設
- ④前処理ろ過機 ⇒ 地下水に含まれるマンガンや鉄を薄める施設
- 急速ろ過機 ⇒ マンガンや鉄を除去し、飲める水にする施設
- ⑤浄水池 ⇒ きれいにした水を貯め、ポンプで配水池に送る施設
- ⑥排水池 ⇒ 急速ろ過機の排水を上澄水と汚泥に分離する施設
- ⑦濃縮槽 ⇒ 排水池の水を上澄水と濃い汚泥に分離する施設
- ⑧天日乾燥床 ⇒ 濃縮槽で出た汚泥を捨てるために乾燥する施設
- ⑨応急給水施設 ⇒ 災害時などに給水を行う施設
- ⑩第3水源 ⇒ 地下水をくみ上げる場所
- ⑪防災調整池 ⇒ 大雨時に河川の増水を防ぐため水を貯める施設
- ⑫配水池 ⇒ 各家庭や学校などに水を送り出す施設
- ⑬機械棟 ⇒ 浄水場の各施設を管理する機械を設置している施設
- ⑭車庫・倉庫
- ⑮鏡水苑 ⇒ 釣瓶井戸と手押しポンプ井戸を設置した憩いの施設

【工事名】

第5次拡張事業 鏡石浄水場建設工事

【工期】

令和元年6月3日～令和4年9月30日
(本体工事：令和4年4月30日)

【発注者】

鏡石町長 遠藤 栄作

【発注者支援】

一般財団法人ふくしま市町村支援機構

【設計監理者】

(株)武田コンサルタント

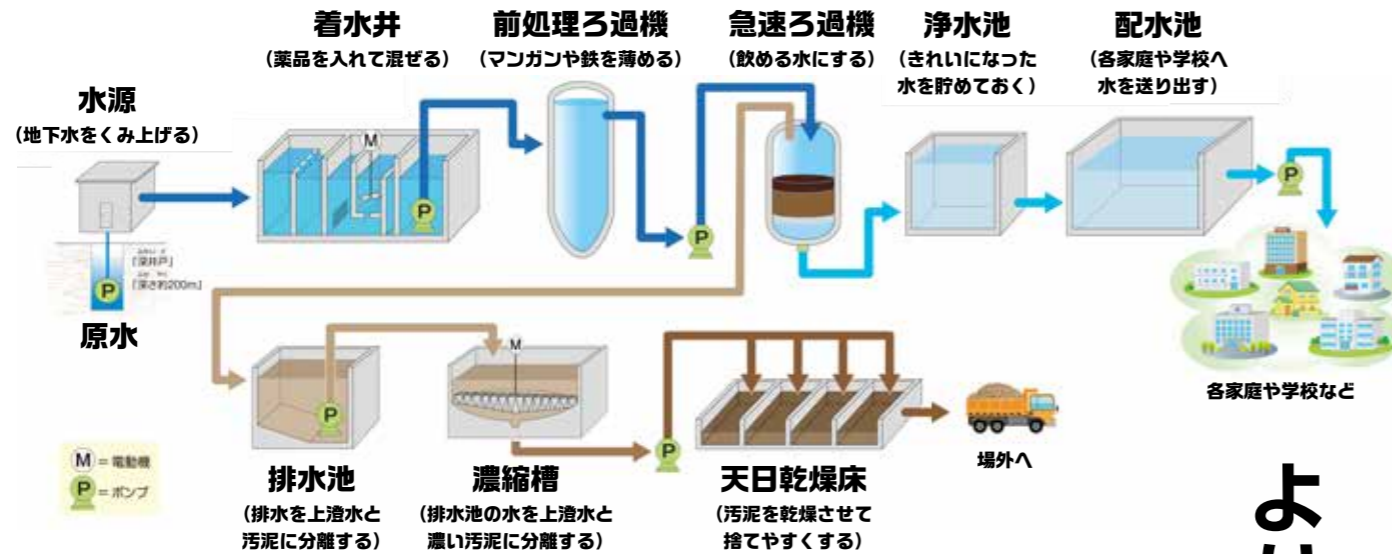
【施工者】

水道機工(株)

【工事費総額】

31億5,018万9,900円(令和4年3月末現在)

鏡石浄水場で水がきれいになる工程



よりおいしい水道水に

新たに導入した「前処理ろ過機」



町の水道水の水源は地下水です。地下水には鉄分が多く含まれていますが、そのために色の付いた水道水が出る場合があります。

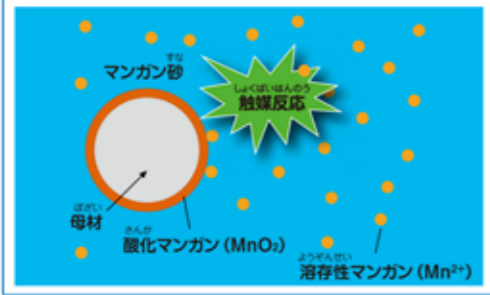
鏡石浄水場では、新たに「前処理ろ過機」を導入し、地下水に含まれるマンガンや鉄を除去することで、これまで数値の高かった水の色度を抑えるようになりました。これにより、よりおいしく清涼な飲料水が各家庭や学校などに届けられるようになります。

除マンガンの原理

原水をマンガン砂に接触させることで、溶存性マンガン(Mn²⁺)を除去します。

前処理ろ過機・急速ろ過機にマンガン砂を充填しています。マンガン砂には、母材の周りに酸化マンガン(MnO₂)が付着しています。

この酸化マンガンと水中の次亜塩素酸ナトリウムが原水中の溶存性マンガン(Mn²⁺)の酸化を促進させます。(触媒反応)マンガン砂に付着した溶存性マンガンは酸化反応により酸化マンガンとなり、再び触媒として働きます



【水道をご利用の方へ】

旭町浄水場から鏡石浄水場への切替に伴い、今後色の付いた水道水が出る場合があります。その際は、しばらく水を出し続けてからご使用ください。ご不便をお掛けしますがご理解をお願いいたします。

●問い合わせ先

上下水道課 ☎ 62-2348
☎ 62-2119

町民の「憩いの場」を設置

鏡水苑

浄水場敷地内の北東側には、釣瓶井戸と手押しポンプ井戸を設置し、「鏡水苑」として整備しました。鏡水苑の命名・ロゴは町内の絵本造形作家・菊地清さんによるものです。



釣瓶井戸と手押しポンプ井戸がレトロな雰囲気を感じさせる「鏡水苑」